

第3回 学校運営協議会資料

第3回の学校運営協議会は、コロナ感染症まん延防止の観点から書面開催となりました。各部・学年などの総括をまとめさせていただいております。

【3年】

1月下旬から本格的に大学の一般入試が始まり生徒たちも頑張っています。2月下旬の国公立大学入試を目指し頑張っている生徒もいます。また卒業式に向けて準備を頑張っている生徒もいます。学校教育自己診断アンケートを分析すると、47期生は学習面ではいい結果が出ています。授業中の雰囲気、授業態度の良いの割合、授業の理解度の割合が例年より増えました。4月当初の休校の遅れを取り戻そうと努力していたのかもしれませんが。しかし学校行事の満足度は制限や中止などもありかなり低いものとなりました。例年は文化祭でクラスでまとまりその後それぞれの進路に向けて取り組むというパターンですが今年はそれがうまくいかず12月、1月の最後の頑張りに繋げることもできず学校生活が辛い生徒が少し増えたように感じられました。3年になり自分の関心、興味で選択した科目に関しては楽しそうに前向きにやっており総合学科の良さを認識しました。アンケート結果でも8割の生徒が選択した科目で自分の進路に繋がったものがあつたと回答しています。進路実現に向けて学年団として最後のサポートをしたいと考えています。

【2年】

2年生では、「自分の夢を見つける」・「自覚と責任を持つ」・「自己理解、他者理解」をスローガンに掲げ、様々な場面で生徒が自主的・主体的に行動できるようになって欲しいと考え指導してきました。しかし、コロナの影響で、全体への指導をする場面の設定が難しく、思うように指導が行き届いていないと感じる場面も少なくありませんでした。学校生活においても様々な場面で制約・制限があり、生徒にとっても窮屈に感じることも多かったと思います。そんな中、修学旅行を無事に実施することができたことは本当に良かったと思います。次年度は、いよいよ最終学年です。自分の夢（自分の進む道＝進路）に向かって目標を持ち進んでいけるよう指導していきたいと思います。また、今年度は、多くの学校行事が中止または規模を縮小しての実施となってしまいました。学校を引っ張っていく学年として、リーダーの育成も学年としての課題の一つであると感じています。

【1年】

授業のようすについて報告します。対話や協同を重視した授業展開は残念ながら減っています。例年行う講演については、広い教室に生徒半数を入れて2部交代制で実施するなど、密を避ける工夫で行っています。クラスを超えた、学年全体の交流が行えていないことを懸念していますが、一方で例年になくクラスの中でのつながりが強いようにも感じています。

今年度は、毎年おこなっている支援学校との交流企画が、生徒会執行部のみのオンライン交流というかたちで実施されました。残念ながら1学年全生徒で行うことはできませんでした。いっぽうで、共生社会・障がい者理解のための教育として、パラリンピックとパラスポーツ・アスリートについての調べ学習と、1学年を3つに分けてポスターセッションを行いました。自立支援コースをもつ学校として、さまざまな人とともに生きる考え方を身につけてほしいと思っています。

【総務部】

今年度のオープンスクールは、11/21(土)に実施しました。

・申し込み人数は第1部140名、第2部140名、合計280名で、キャンセルを含めると実際の参加人数は約260名でした。当日は天候に恵まれ、在校生の活躍するオープンスクールとなりました。

今年度の卒業式は、2/26(金)に以下の要領で実施する予定です。

- ① 新型コロナウイルス感染症対策として、在校生と来賓の出席は無し。保護者は1名のみの参加とする。
- ② 卒業生・保護者とも全席指定で、すべて1席分空けてソーシャルディスタンスを確保する。
- ③ 参加者全員に家庭での検温と会場でのマスク着用、消毒をお願いする。
- ④ 卒業生による歌唱は無くし、代わりに卒業生が作成した歌唱CDや歌唱映像を『清聴』する。
- ⑤ 例年2回行っている予行を1回とし、内容を精選する。

【教務部】

コロナによる一斉休校のため、年間行事予定の策定に苦慮した。様々な部署と連携し、授業日の確保だけでなく、行事やクラブ活動の保証のため、70分授業を実施する決定に至った。

現在まで休校措置になっておらず、予定通り進めることができている。

定期考査・成績処理について、ミスが起きないように注意喚起を行い、予防に努めた。

昨年度より定期的に教育課程委員会と教科会を実施し、新カリキュラム(令和4年度実施)のベース案が固まった。来年に向けて、大学入試情報などを基に、各教科最終調整に入っている。

また、令和4年度から始まる観点別学習状況の評価についての情報を、随時、教員間で共有するよう努めている。

学外の学修の単位認定について、新型コロナのため、高大連携講座やボランティア活動の受け入れについては実施されていない。英語検定などの技能審査のみ実施した。

【進路指導部】

現在の進路状況を報告します。

公務員：消防・府警察行政に合格しています。

就職：学校斡旋希望者数名も全員内定しています。

専門学校：医療系看護系を中心に 40 名程度が合格しています。

大学：年内の推薦入試においても、例年の倍程度の合格率となっています。考えられる理由としては、生徒の勉強の頑張りとともに、次の理由もあるようです。併願受験者数が減少して入試倍率が低下している。また、高校生の総数が年々減少する中、募集定員は減少していないので、入試の易化が起こっている。

【生徒指導部】

後期 10 月～12 月までの遅刻件数

10 月＝352（1 年＝85、2 年＝72、3 年＝195 人）

11 月＝485（1 年＝81、2 年＝108、3 年＝108 人）

12 月＝483（1 年＝66、2 年＝104、3 年＝313）

昨年との比較では、1、3 年は増加、2 年は減少という数字です。今年は、すべてのことがコロナ優先になっており、発熱に伴う欠席も出停になるため、正確な数字は出ていないと考えています。前にも申しました通り、集会もままならず、直接生徒指導部から注意喚起することはありません。その影響はじわじわと出てきていると考えており、服装も時間もかなりルーズになっていると思われます。今後のコロナの状況にもよりますが、来年も現在のような状況での教育活動を強いられることになると、新たに手を打つ必要があるかも知れません。

【生徒会】

文化祭 9 月 4 日（金）

半日開催に縮小しました。午後からは有志団体とクラブによる出演で、見学自由としました。

来客はなしとし、保護者、招待客にもご遠慮いただきました。

新しい生活様式（人と人との距離、来店名簿や整理券の作成、手指消毒や道具の共用の際の消毒など）を意識して実施しました。よって演目については、お化け屋敷と飲食は実施を見送りました。

体育祭 10 月 9 日（金）雨天中止（前日から雨）。

行事予定の決定の際、予備日をとることができませんでした。

クラブ加入率について、3 学年全体で 72.6%（7/15 付け）昨年は 76.7%

（1 年 73.7% 2 年 74.3% 3 年 69.9%）

文化祭満足度→全体 83.1%（1 年 96.2% 2 年 90.5% 3 年 62.9%）

今年度の他校の文化祭の様子なども参考にしながら、来年度の形を模索していく。

堺支援学校との交流会を、今年度はオンライン交流会に形を変えて実施（1 月 21 日と 28 日の昼休み）

生徒会執行部役員選挙については、数年ぶりに補充選挙を伴うことなく 1 回で定員を満たす。しかし、クラブとの掛け持ちの生徒が多く、活動日の調整には毎回一苦労している。

【保健部】

年度当初より、感染症対策を第一に見据えた活動であった。

全校生徒、教員に対して手指の消毒、三密の回避を注意喚起
教員による清掃分担区域での消毒（1日1回以上）

検診関係

内科検診：分散登校時の5月に学年別で実施

歯科検診：9月、11月に学年別で実施

その他の検診は学年別にLHR時に前期で実施

すべて換気に注意し、密を避けて行った。

避難訓練：放送により避難方法、注意点等を説明、指示する。

救急処置講習会は生徒向けのみを、人数を絞って実施できた。

薬剤師による空気検査：1月に実施エアコン・空調換気扇を稼働した状態で、2教室でCO2濃度を測定、いずれも基準値を下回る。

【人権教育委員会】

今年度は、新型コロナ感染症のため行事日程の変更などを余儀なくされた1年でした。全体について、教職員向け研修の1回目は、休校中に急遽Google Classroom作成研修を本校教員がすることになり、その研修を第1回とさせていただきました。第2回目は、同和問題研修を2021.1.6に行いました（参加者は50名）。生徒向けの人権講演（映画）会は、7月予定のものを2021.1.14に1・2年対象のみで行いました。「この世界の片隅に」という戦争前後の広島を舞台にしたアニメーション映画です。

各学年について、1年は入学直後に行う「情報と人権」は入学式が6月になったことを受けて6.19に行いました。支援学校との交流会は中止になりましたが、障がい者体験のみ11.12に行いました。あと映画「めぐみ」（北朝鮮拉致問題）をこの問題とは別にヘイトスピーチは許されないという説明とともに、11.19に本校で上映しました。2年は、高校生のための法律講座を2時間の所1時間に短縮して11.19に行いました。ただ、虐待防止プログラム講演は例年1.2月に行われますが、今年度は体育館しか使用できなかったため、やむなく担任によるHRでアンガーマネジメントに変更して1.7に行いました。3年はほぼ予定どおり就職と人権、HIV・エイズ防止教育を講師で行いました。（9.17と10.22）

【自立支援コース】

○今年度卒業生（49期生）進路先

紀伊国屋書店（非正規・障がい者枠） 1名（1/29内定予定）

縁故就職（現業） 1名（予定）

就労移行支援施設「すぎな」 1名

○令和3年度 自立支援コース選抜 2月18日（木）3名募集（新聞での発表6名受験予定）

○その他

・新型コロナの関係で3年生の就職に向けた実習以外は軒並み中止とした。

（生活Ⅲでの授業内の校外実習・1年 体験実習 施設見学会）

・学習サポーターとして学校近隣の方を中心に 10 名の方でお世話になっています。今後ともご協力を
よろしく願いいたします。再来年度より新カリキュラムになる関係で、自立支援コース生の選択でき
る科目をいかに保障していくかが課題。現在検討中。

【生徒支援委員会】

生徒支援委員会に挙げた生徒（6月～1月末）で172件。（R1は221件だが、4月～2月の数）
*のべ人数で、継続の生徒も毎月カウントしている。内訳は1年55人。2年44人（昨年1年次は38
人）、3年73人（昨年2年次は78人）会議では、毎月平均29人の生徒について、情報共有や支援の
対策を検討している。コロナの関係で、会議は6回の開催だが、現時点で上回っている。

ほっとコーナーの来室数（のべ人数）もR1年度は4月から2月で生徒利用が127件だったのが、5
月分散登校～1月25日までで、236件。

保護者との面談も5件が今年度は17件に増えている。

来室の理由は、授業に入れない。進路・対人関係、コロナ不安等。